

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびっこらんど田村（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 8 日		～ 令和 7 年 1 月 27 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 8 日		～ 令和 7 年 1 月 18 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 4 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの発達状況に合わせ、多職種（保育士・児童指導員・言語聴覚士）が連携し、集団・個別・ことばの支援ができる。	その日のお子さんの体調や気持ち、利用人数に合わせ、臨機応変に内容を変更したり、課題取り組みが難しいお子さんは、スタッフと一緒に取り組むことで「できた」を増やしていけるように支援している。また、上手にできた時は褒め、自信につながるようにしている。	お子さんの興味・関心を把握し、楽しくお友達と活動へ参加したり、スタッフとお勉強したりできるよう工夫していく。
2	季節を感じられるプログラムや行事の設定。	毎月、壁面製作を行い、玄関内に掲示し、季節を感じられるようにしている。おやつ作り(クレープ作り)を実施したり、お正月遊び(かるた・福笑い・こま作り)などを取り入れ、楽しく参加できるように課題設定している。	お子さん1人1人に合わせた課題設定。お子さんの得意・不得意を考慮しながら、無理のない範囲で取り組むことができるよう工夫していく。
3	送迎サービスを使つての利用。 (共働きのご家庭が多く、幼稚園・預かりを利用しているお子さんが殆どのため、送迎がないと利用できないケースが多い。)	送迎方面を決めて送迎している。送迎の利用人数に応じて、スタッフ2名体制で行っている。	送迎時間が片道30分のところが多いため、サービスの提供の仕方を考えていく必要がある。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団支援をご利用のお子さんは、その日の利用状況をお手帳に書きつつ、保護者様へフィードバックしているが、送迎サービス利用のお子さんは、園や預かりへの送迎のため、利用状況を保護者様へ直接お伝えできていないこと。	送迎サービス利用のお子さんへ対してのフィードバック体制が整っていないため。	面談する時間を確保し、利用状況をお伝えしたり、ご家庭での状況を聞き取ったりしていく。
2	広いお部屋をパーテーションやカラーボックスで仕切って構造化し、集団支援室と遊びのエリアにしているため、遊ぶスペースが少し狭いこと。	構造上の都合。個室の部屋数も少なく、一番広いお部屋を仕切る方法が一番良かったため。	構造化の仕方を再検討していく。
3			